

関門地域(下関市・北九州市)の未来をつなぐ

# 下関北九州道路

## 関門地域の現状

### 下関北九州道路について

- 本州と九州の結節点である下関市と北九州市は、人やモノが行き交う要衝として、また大陸との玄関口として、一体的に発展してきました。
- こうした地域が持つポテンシャルを発揮させ、さらなる発展を図るためには、当地域における渋滞や通行止めといった現状の道路課題を解消することが必要です。
- 下関北九州道路は、両市の中心部を結ぶ新たな道路であり、こうした既存道路ネットワークの課題を解消するとともに、関門橋・関門トンネルの代替機能を確保し、さらには循環型ネットワークを形成することにより、下関・北九州地域の発展に大きく寄与するものです。

**本州-九州の大動脈である関門橋・関門トンネルは  
関門海峡を越えて地域の暮らしや産業、観光を支えています。**

海峡を越えた交流・連携

### 暮らし 海峡を越えて一体となった生活圏

わずか約 **2 km**の海峡を挟んで約**120万人**の都市圏を形成！  
北九州市-下関市間の通勤・通学の往来が約 **1万人**！\*

※移動手段は大多数が自動車(地域住民、企業等アンケート結果※6)



凡例	ショッピングセンター(店舗面積)	北九州市商圏
百貨店(店舗面積)	50,000㎡以上	北九州市に年1回以上買物に行く人が5割を超えるエリア
30,000~50,000㎡未満	30,000~50,000㎡未満	通勤通学者数(人/日)
30,000㎡未満	30,000㎡未満	通勤通学者数

▲通勤・通学流動・主要大型小売店立地状況 出典:図説九州経済2017、国勢調査(H27)

### 医療 海峡を越えて連携する救急医療

北九州市⇄下関市間の救急搬送件数は年間約**50件**！  
関門海峡を挟んで相互**連携**！



二次救急医療機関 地域で発生する救急患者への初期診療を行い、必要に応じて入院治療を実施する病院  
三次救急医療機関 緊急性・専門性の高い脳卒中、急性心筋梗塞等、幅広い疾患に対応して高度な専門的医療を総合的に実施する病院

出典:消防・医療機関ヒアリング結果 ※7

### 災害対応 海峡を越えた災害への対応

本州や九州から被災地へ、『関門橋』を通行して多くの支援車両が駆け付けました！

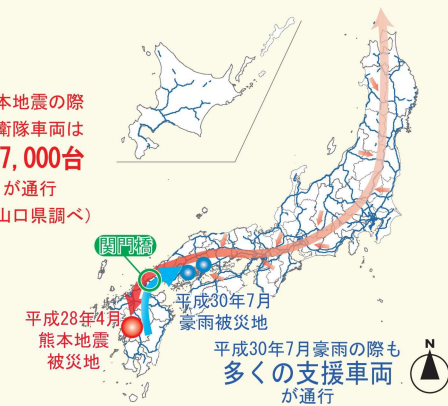
#### 支援車両の通行状況



#### 支援活動の状況



熊本地震の際  
自衛隊車両は  
約**7,000台**  
が通行  
(※山口県調べ)



平成28年4月  
熊本地震  
被災地

平成30年7月  
豪雨被災地

平成30年7月豪雨の際も  
多くの支援車両  
が通行

# 下関市・北九州市の中心部を結ぶ道路網の課題

迂回・渋滞・通行止めにより、交流人口の拡大や迅速かつ円滑な物流

老朽化する関門橋・関門トンネルで頻発する通行止め

## ■関門橋 (延長 1,068m)

- ・ 開 通：昭和48年11月 (46年経過)
- ・ 交通量：39,219 台/日 (令和元年度)



○関門橋の通行止め状況 (H27～R1年度)

日付	原因	備考
R01.08.06	台風	上下線 約4時間半通行止め
H30.10.06	台風	上下線 約3時間通行止め
H30.07.06	雨	上下線 約3時間通行止め
H30.02.11~12	積雪	上下線 約11時間通行止め
H29.02.11	積雪	上下線 約8時間通行止め
H28.08.06~07	火災	上り線 約4時間半通行止め 下り線 約2時間半通行止め
H28.01.24~25	積雪	上下線 約38時間半通行止め
H27.11.07	事故	上り線 約2時間通行止め
H27.10.11	事故	下り線 約2時間半通行止め
H27.08.25	台風	上下線 約14時間通行止め

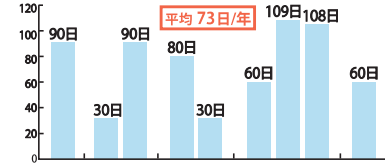
## ■関門トンネル (延長 3,461m)

- ・ 開 通：昭和33年3月 (62年経過)
- ・ 交通量：26,974 台/日 (令和元年度)



下関市と北九州市間の交通量は、約2万5千台にのぼり、そのうち、約7割の1万7千台が関門トンネルを利用しています。(H17道路交通センサス)

○関門トンネルのリフレッシュ工事による全面通行止めの状況 (年平均通行止め日数)



○関門トンネルの事故・落下物等による通行止め回数

年度	通行止め回数
H27	289回
H28	235回
H29	207回
H30	198回
R1	195回
合計	1,124回

・ 5年間の回数 1,124 回

・ 通行止め頻度 2日に1回 以上

## 関門橋・関門トンネルの通行止めによる弊害！

救急搬送に  
影響を及ぼします！



関門橋が通行止めになった際、市内の道路が大渋滞となり、救急活動時に現場や病院へ向かうルートの変更を行い、搬送にいつも以上の時間を要しました。幸い重傷者はいませんでしたが、患者に大きな負担がかかりました。

出典：消防機関ヒアリング結果 ※9

化学製品の輸送に  
影響を及ぼします！



メタノール等の化学製品は危険物であるため、関門トンネルを使わず、関門橋を利用しています。関門橋が通行止めの際は、他に代替路がないため、解除されるまで待つことなく、下関ICで1日待機したこともありました。

出典：彦島地区の企業ヒアリング結果 ※8

自動車部品の輸送に  
影響を及ぼします！



関門橋が通行止めになった際、関門トンネルへの迂回輸送を余儀なくされましたが、そのフルトレーラーでは、トンネルの通行ができませんでした。そのため、貨物を別のトラックに積み替える作業が発生し、余分な時間や人件費がかかりました。

出典：輸送業者ヒアリング結果 ※1

観光ツアーのルートに  
影響を及ぼします！



関門橋が通行止めとなった際は、ルートを変更しましたが、関門トンネルを通過するのに4時間も要し、到着が大幅に遅れました。また、旅程も変更となり最終的には移動手段を電車で切り換えてツアーを続行しました。

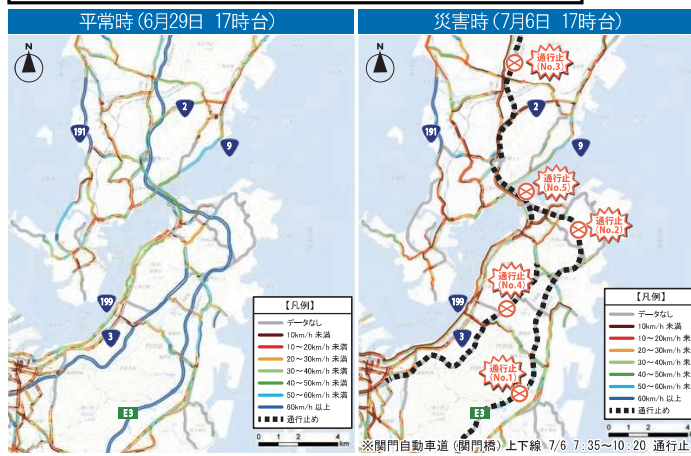
出典：旅行者・観光関連団体ヒアリング結果 ※3

に支障をきたしています。

通行止めになれば、地域の道路交通がマヒします

○関門トンネルや高速道路が通行止めになると、国道2号・3号・199号など幹線道路が著しく渋滞します。このため、下関・北九州地域全体の物流や交通に支障をきたします。

関門トンネルや高速道路が通行止めとなった事例 (平成30年7月豪雨時)



渋滞による物流網の混乱のため、トヨタ自動車九州宮田工場で数日間に渡り生産への影響(5割程度の生産停止等)が発生しました。

出典：平成30年7月豪雨の影響調査ヒアリング結果 ※4



渋滞の影響による通学困難のため、門司学園中学校・高校で3日半を休ませざるを得ませんでした。

出典：平成30年7月豪雨の影響調査ヒアリング結果 ※4



関門橋の通行止めを受けて、取り扱っているコンテナ輸送は、その日の輸送を断念しました。

出典：物流企業ヒアリング結果 ※5



○平成30年7月豪雨時の通行止めの時間

No.	道路名(区間)	上下線	通行止めの時間
1	九州自動車道 (門司IC~小倉東IC)	下り線 上り線	7/6 7:21~7/11 11:30 7/6 7:21~7/17 15:00
2	関門自動車道 (門司港IC~門司IC)	上下線	7/6 7:35~7/7 16:00
3	中国自動車道 (興津西IC~下関IC)	上下線	7/6 8:05~7/7 11:02
4	北九州高速 (尾立~春日)	上下線	7/6 8:57~7/10 17:00
5	国道2号 (関門トンネル)	上下線	7/6 10:20~21:00

○平常時(H30.6.29)と関門トンネル通行止め時(H30.7.6)の所要時間



## 地域住民や企業も両市の移動には課題があると考えています

地域住民・企業等ともに両市を自動車で行き来する人の約8割が、「交通混雑」に課題があると回答。また、「通行止めが多い」、「大きな遠回りによる移動」についても課題と回答した人の方が多い。

▼下関市~北九州市間の移動における課題

